

2021年度 取組状況等 横浜未来機構

【～2020年度】

「新たなエリアマネジメントの取組」成果

テーマ

ビジネス
エコシステム

・イノベーション
協議会の検討
→横浜未来機構
の設立(2021年
3月31日)

コミュニティ
形成

都市デザイン

スマートシティ・
スマートモビリティ

都市観光・
MICE・ナイト
タイムエコミー

【2021年度】

【上期実績と実施内容(2021年度)】

○会員の参画

企業や教育・研究機関等の会員について募集を行い、正会員62団体に参画をいただいている。

○体制の構築

2021年8月26日に総会を開催し、理事・監事を選出、理事会において会長、副会長を決定。事務局をYMM内に設置。

○活動の本格開始

企業や大学等の実証実験やマッチングなどを実施。今後も10のアクションプランを中心に展開。

② イノベーションの土壌づくり (活動当初の10のアクション)



あらいを体験できる都市を生み出す
みらい体験都市



「変化への挑戦者」を徹底的に応援する街になる
挑戦者応援都市



業種・領域・国境などを「越境」しやすい街になる
領域越境都市



新結合・化学反応をおこす「イノベーション人材のコーディネート・交流」
新価値創造を目指す「R&Dからの新規事業開拓」
世界のイノベーターと接続する「グローバル・イノベーション・サポーター」

- 1 ユーザー視点の実証実験「街ぐるみのみらい体験」
- 2 新たなアイデアをいち早く検証「β版フィードバック・サポーター」
- 3 未来の街をつくる「スマートな街・5Gユースケース創出プロジェクト」
- 4 新事業のタネ、知識・社会を学ぶ「街ごとキャンパス構想」
- 5 ハードテックを民主化する「誰でもテックハブ」
- 6 クリエイティブなビジネス環境を可視化「スタートアップ・オフィスエリア・プロモーション」
- 7 技術シーズのポテンシャルを探る「基礎技術の新ビジネスへの応用支援」
- 8 新結合・化学反応をおこす「イノベーション人材のコーディネート・交流」
- 9 新価値創造を目指す「R&Dからの新規事業開拓」
- 10 世界のイノベーターと接続する「グローバル・イノベーション・サポーター」

【2022年度～】

【次年度以降の展開】

更なる活動強化

- ・コンシェルジュ機能、WEBによるイノベーション情報一元化
- ・勉強会等イノベーション人材成長の場
- ・企業と街の共創プロジェクト
- ・イノベーションイベント

※ 周辺エリアとも連携して展開

※ 5Gなど最新技術の展開も

2021年度 取組状況等 MM21 Activation Program

【～2020年度】

「新たなエリアマネジメントの取組」成果

テーマ

ビジネス エコシステム

・アクセラレーションプログラムの実施、支援を展開

コミュニティ 形成

都市デザイン

スマートシティ・ スマートモビリティ

都市観光・ MICE・ナイト タイムエコミー

【上期実績と実施内容(2021年度)】

○アクセラレーション・プログラムの実施

年末以降にコロナ禍での活性化等をテーマに
街とベンチャービジネスを繋げるショートピッチ実施等。
現在、「街のニーズ・課題」をより共有していくための
エリア内各施設へのアンケート、ヒアリングを実施中。

○次年度以降の展開

持続的な取組としていくべく、横浜未来機構（資料1-2）
との連携をしながらの有効な活動内容について検討。

【実施体制】

＜MM21地区ビジネスエコシステム形成プログラム実行委員会＞

京セラ(株)、京浜急行電鉄(株)、(株)資生堂
住商ビルマネジメント(株)、日産自動車(株)
富士フイルムビジネスイノベーション(株)、ぴあ(株)、三井不動産(株)
三菱地所(株)、(株)村田製作所、(株)横浜銀行
(一社)横浜みなとみらい21

【2022年度～】

■次年度以降の推進案

- ・街のニーズ把握
→ヒアリング・アンケートで施設等の意向把握
- ・具体的なテーマ設定
- ・幅広いチャンネルで募集
- ・意向ある企業と連携し
実証／実装調整
- ・成果検証
- ※ 周辺エリアとも連携して展開
- ※ 5Gなど最新技術ソリューションも積極的に呼び込む

2021年度 取組状況等 公共的空間等の活用のあり方検討

【～2020年度】

「新たなエリアマネジメントの取組」成果

テーマ

ビジネス
エコシステム

コミュニティ
形成

都市デザイン

・公共的空間の
配置状況等現況
把握
・アンケートによる
活用ニーズ把握

スマートシティ・
スマートモビリティ

都市観光・
MICE・ナイト
タイムエコミー

【2021年度】

【上期実績と実施内容(2021年度)】

○公共的空間活用ポータルサイトの作成
地区内に立地する活用可能な公共的空間の位置、活用条件、手続き及び活用事例等の情報を一元的に発信するポータルサイトを作成・公開(12月以降)

○活用促進に向けた取組検討

- ・新たな公共空間の活用の促進及びあり方の検討を目的に、産官学の連携による、公園及び民地(有効空地)を一体的に活用した野外オフィス設置実験を実施(4月)
- ・公共的空間の活用ビジョンの作成及び規制の見直しに向けた検討を開始

【検討体制】

<街づくり基本協定専門部会>

(独行)都市再生機構、三井住友信託銀行(株)(住商ビルマネージメント(株))、三菱地所(株)、(株)横浜国際平和会議場、横浜市都市整備局
事務局：(一社)横浜みなとみらい21

原則毎月第4木曜に開催

<公共空間活用委員会>

委員：地区内公共的空間(公園、駅前広場、公開空地、有効空地、地区施設)活用主体 12者、(一社)横浜みなとみらい21

顧問：横浜市都市整備局

【2022年度～】

■活用促進に向けた取組の実施

①公共的空間活用
ポータルサイトの
運営・コンテンツの充実

②公共的空間の活用
ビジョン作成及び規制の
見直しに向けた検討の
継続

2021年度 取組状況等 スマートモビリティ 検討

【～2020年度】

「新たなエリアマネジメントの取組」成果

テーマ

ビジネス
エコシステム

コミュニティ
形成

都市デザイン

スマートシティ・
スマートモビリティ

- ・スマートモビリティ
検討会3回開催
- ・リーディングPJ案と
ロードマップ案選定
- ・当地区「スマートモ
ビリティビジョン」冊子
発行・配付

都市観光・
MICE・ナイト
タイムエコミー

【2021年度】

【上期実績と今期実施内容(2021年度)】

○ スマートモビリティビジョンに基づく実証実験

先行実証を開始：ループバス、電動キックボード

<ビジョンに基づく5つの「取組方針」で検討・実施>

- 1) モビリティサービスの質の向上と充実
- 2) 多様なモビリティサービスを“つなぐ”
- 3) データプラットフォームの構築(今期より要件の検討)
- 4) モビリティサービスのための空間創出(モビリティハブ&スポット他)
- 5) 街側のコンテンツとの連携と働きかけ

○ スマートモビリティWG(実証実験等に向け現在調整中)

- ・テーマ毎にメンバーを選定してWGを開催
- ・①ループバス、②地区連携チケット、③モビリティハブ&スポット、④集中需要・分散誘導施策を主テーマに検討してロードマップ素案を作成

【検討・実施体制】<テーマ毎に下記WG開催>調整中

学識経験者：東洋大学（岡村教授）
行政：横浜市（都市整備局，他）
交通事業者：横浜市交通局，他
民間事業者：三菱地所，他
事務局：（一社）横浜みなとみらい21

第1回(11月下旬)

テーマ：新たなモビリティ
システム

- ・ループバスが主題材
- ・連携チケット先行実験
- ・利用者行動検証
- ・他交通モードとの連携

第2回(12月予定)

テーマ：モビリティと他のコン
テンツとの連携システム

- ・連携チケットが主題材
- ・連携チケット調査報告
- ・チケット技術と連携仕組
- ・Mhハブ&スポット例報告

第3回(2月頃)

テーマ：③モビリティ
ハブ&スポット

- ・ハブ&スポット調査報告
- ・ループバス実験報告
- ・ロードマップ素案報告

【2022年度～】

■ スマートモビリティWG

→「ビジョン」に基づき対応

- ・リーディングPJ(①ループバス)の総合検証と追加検討
- ・先行実証実験①②の検証と改良検討、社会実装に向けた全体調整
- ・産・学・公・民の具体施策検討、実施調整、予算化
- ・テーマ③④の具体化検討と先行実証実験実施調整
- ・PDCAによる方針・施策等の検証・評価と見直し

→リーディングPJ(ループバス等)実施
(2022年～2023年)

→具体的施策実施
(2023年～2025年)

■ ロードマップ・ 具体施策計画

- ・2021年度WGで作成したロードマップ素案を基に、産・学・公・民が行う具体施策の全体中期計画案(～2025年度)作成

2021年度 取組状況等 都市観光・MICE等取組戦略検討

【～2020年度】

「新たなエリアマネジメントの取組」成果

テーマ

ビジネス
エコシステム

コミュニティ
形成

都市デザイン

スマートシティ・
スマートモビリティ

都市観光・
MICE・ナイト
タイムエコミー

都市観光・MICE
検討会3回

報告書
(基本方針と具体的方策)
のとりまとめ

【2021年度】

【上期実績と今期実施内容（2021年度）】

- 情報発信・イベント一元管理PJ
⇒みなとみらい公式WEBサイトの改修（12月稼働）
- MICE来街者向けコンテンツ拡充PJ
⇒【後掲】ミュージックシティの検討
⇒【再掲】神奈川大学との包括連携協定
- TIC価値向上PJ
⇒魅力発見！オンラインツアー（全3回）
⇒＜後期＞ リモートコンシェルジュ

【検討体制】

- リーディング施策
⇒YMMを中心として各取り組み事に個別に依頼する。
- 全体会議（都市観光/MICE推進会議）
⇒関連構想や施策との関係性を整理したうえで組成していく。
（構成イメージ：2019年度の検討会の参加者）

【2022年度～】

■取組戦略・リーディング施策の推進

取組戦略（2021年度～）

- ①ブランディング
- ②情報発信力の強化
- ③MICE機能の充実
- ④コンテンツの開発
- ⑤連携強化
- ⑥公共空間の賑わい
- ⑦川と海の活用
- ⑧モビリティの向上

リーディング施策

【都市観光MICE推進会議】

- └ 情報発信・イベント一元管理PJ（2021年度～）
- └ MICE来街者向けコンテンツ拡充PJ（2021年度～）
- └ TIC価値向上プロジェクト（2021年度～）
- └ 域内外連携PJ（2022年度～）

※都市観光MICE推進会議にて各PJのアクションプランの企画・進捗管理を実施。

2021年度 取組状況等 ミュージックシティ 検討

【～2020年度】

「新たなエリアマネジメントの取組」成果

テーマ

ビジネス
エコシステム

コミュニティ
形成

都市デザイン

スマートシティ・
スマートモビリティ

都市観光・
MICE・ナイト
タイムエコミー

・検討会3回開催
・コンセプト、目指
す姿、アクションプ
ラン及びロードマッ
プの検討

【2021年度】

【上期実績と実施内容(2021年度)】

○アクションプラン・ロードマップの具体化

○ウェブサイト・ロゴの作成

ミュージックシティのコンセプト、音楽施設の集積状況、公演・イベント情報の一元的な発信等を行うためのウェブサイト及びロゴを作成・公開(12月以降)

○みなとみらいSTREET MUSICの新たな展開

来年度以降の新たな展開に向けて、事業実施方法の見直しや会場施設との調整を行うとともに、ミュージシャンの募集を開始(10月)

【検討体制】＜検討会開催(上半期2回開催)＞

(株)ケン・コーポレーション、(株)Zeppホールネットワーク、(株)阪神コンテンツリンク、ぴあ(株)、(株)ブルーノートジャパン、三菱地所(株)、ヤマハ(株)、(株)横浜赤レンガ、横浜エフエム放送(株)、(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(株)横浜銀行、(株)横浜国際平和会議場、(公財)横浜市芸術文化振興財団、横浜新都市センター(株)、横浜市文化観光局、横浜市都市整備局
事務局：(一社)横浜みなとみらい21

※12月以降、推進委員会に移行予定

【2022年度～】

■ アクションプラン・ロードマップに基づく検討・取組の実施

【Phase1 ～2022】

- ①ウェブサイトの運営及びコンテンツの充実
- ②みなとみらいSTREET MUSICの実施
- ③イベント等実施時の関係者調整・連携支援を行う体制づくり及び課題解決
- ④市上位計画への位置づけ

【Phase2 2023～】

- ・公演・イベントの拡充
- ・みなとみらいSTREET MUSICの充実
- ・商業施設、ホテル、交通機関等と連携した回遊性向上・長期滞在の促進
- ・地区外との連携拡大など